



茶室

常陸太田市とアート

100年以上前からつづく伝統工芸品が存在する。

常陸太田出身、他県から移住した作家も多い。

アートというものが市民の中に密かに存在する
のかもしれない。



アンブレラプロジェクト

1991年、クリストとジャンヌ＝クロード夫妻による企画

農家やボランティア団体が村一丸、当事者となって製作した。

経験者に強く記憶に残り、大切なものになっているのだと考えられる。



コンセプト

周辺で観光した人たちだけでなく
地元の人も使いやすい施設



コンセプト

周辺で観光した人たちだけでなく
地元の人も使いやすい施設

ドライブついでに家族に体験と宿泊を



コンセプト

周辺で観光した人たちだけでなく
地元の人も使いやすい施設

ドライブついでに家族に体験と宿泊を

常陸太田市を感じる施設とする



■ つくる

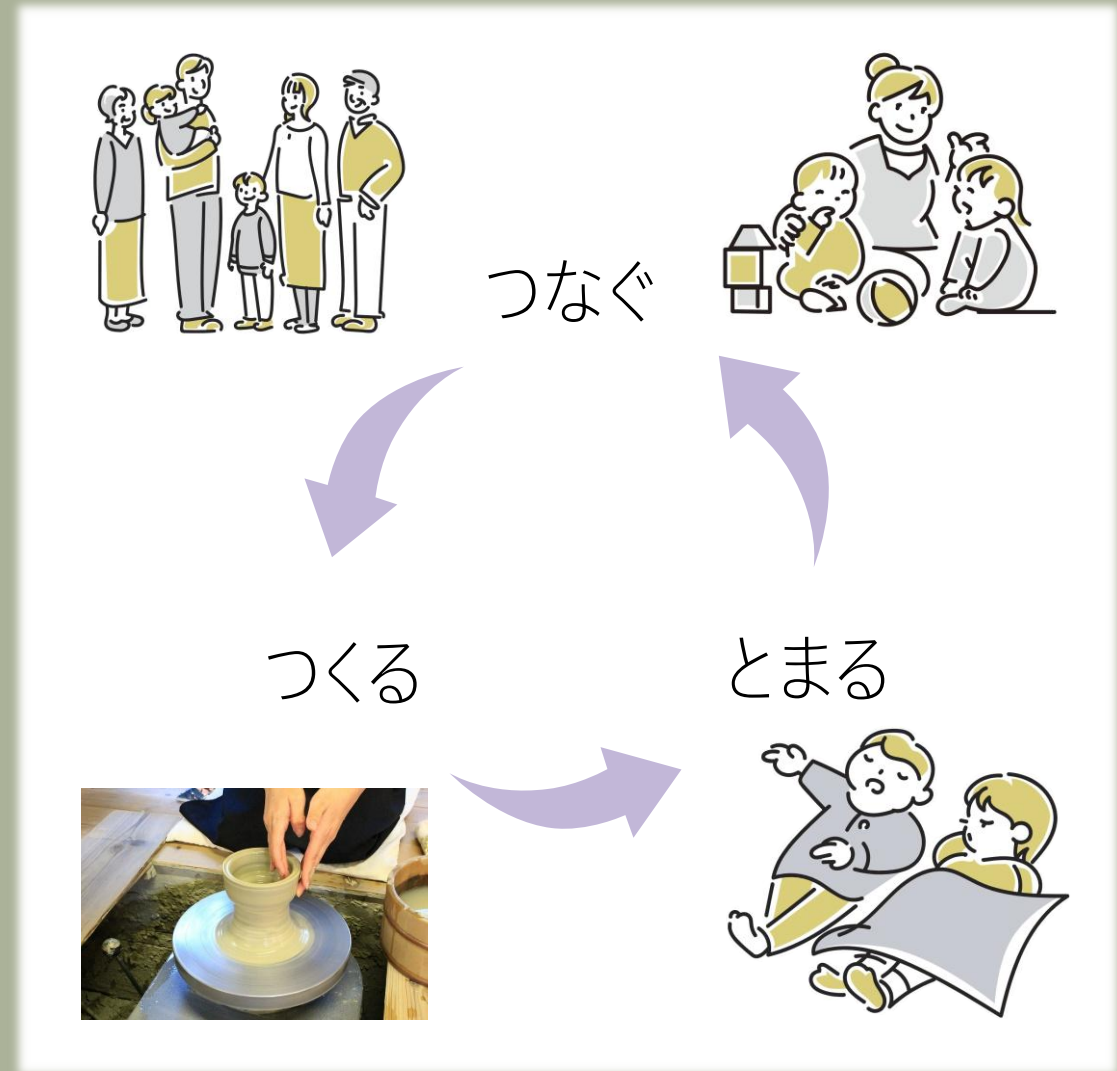
日本酒用のおちょこや醤油皿、常陸太田の特産であるそばを食べる用の大き目の器を作ることができる。

■ とまる

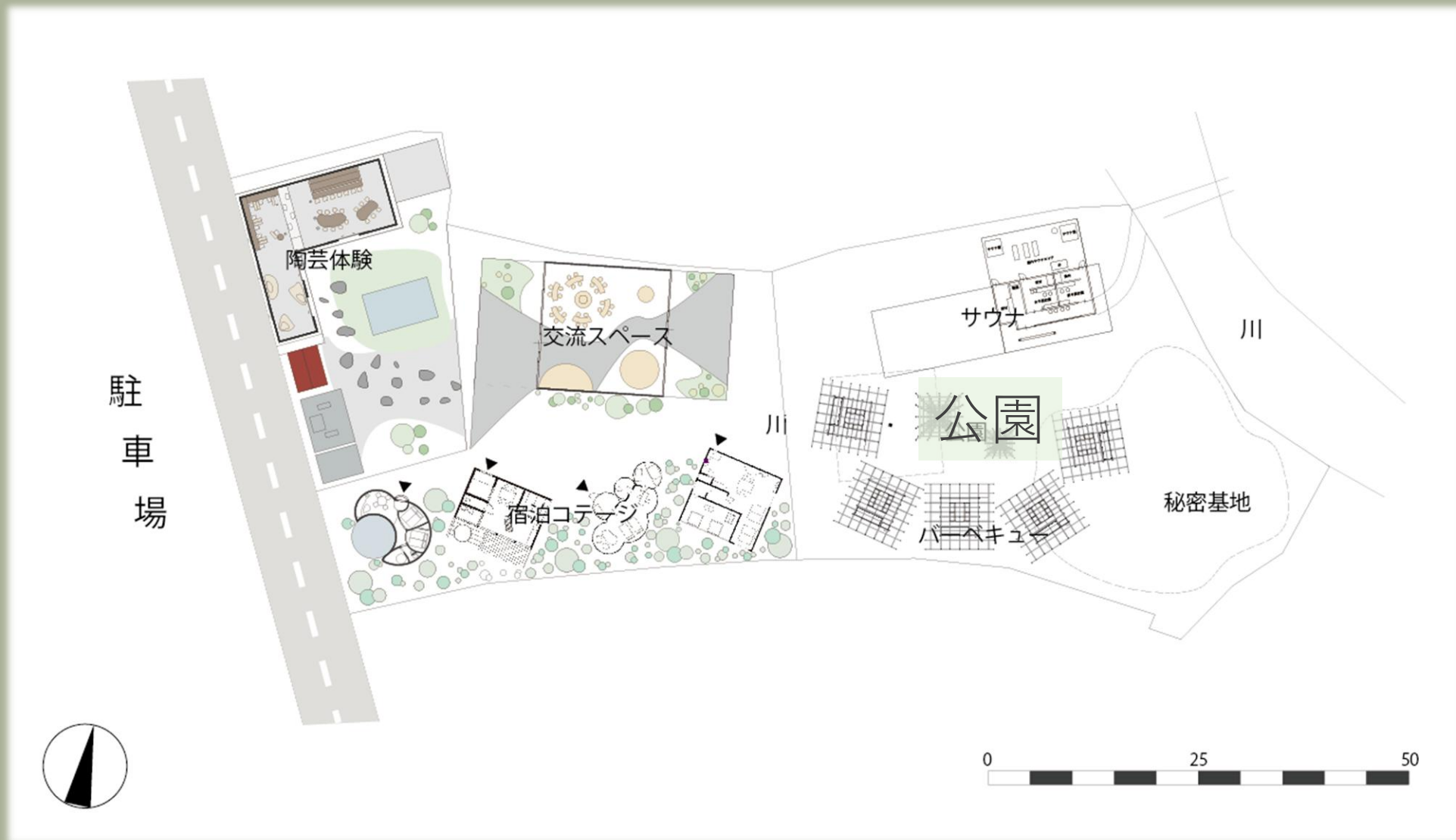
近隣の観光地に訪れた人たちについて陶芸をしながら宿泊してもらえそうな施設にする。

■ つなぐ

思い出の陶器が割れてしまったら、金継体験で修復することができる。また、交流スペースで地域の人と観光客が会話ができるような場所を提供する。



敷地の使い方



敷地の使い方

酒蔵を生かした
陶芸体験



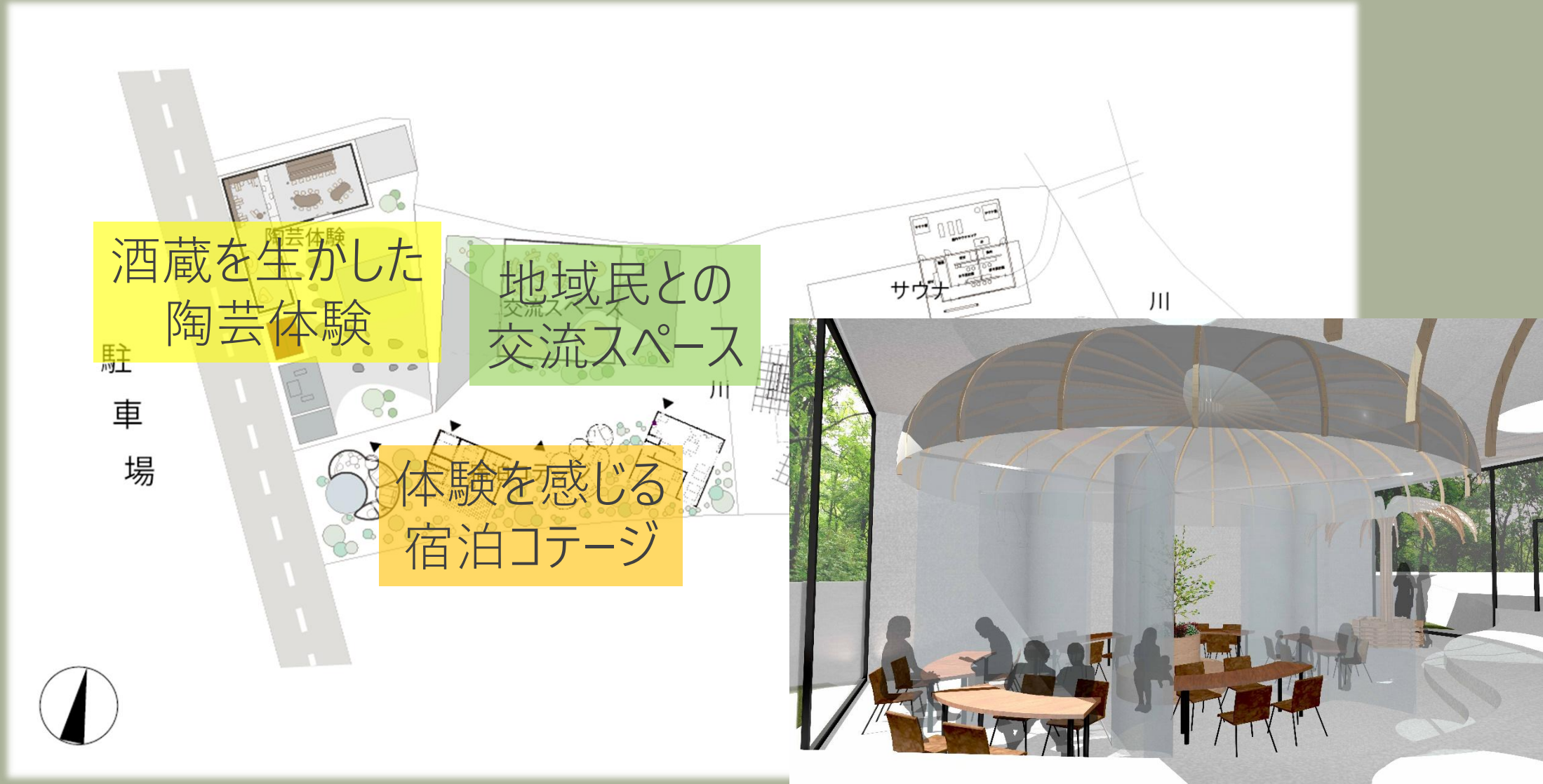


車場

体験を感じる
宿泊コテージ



敷地の使い方



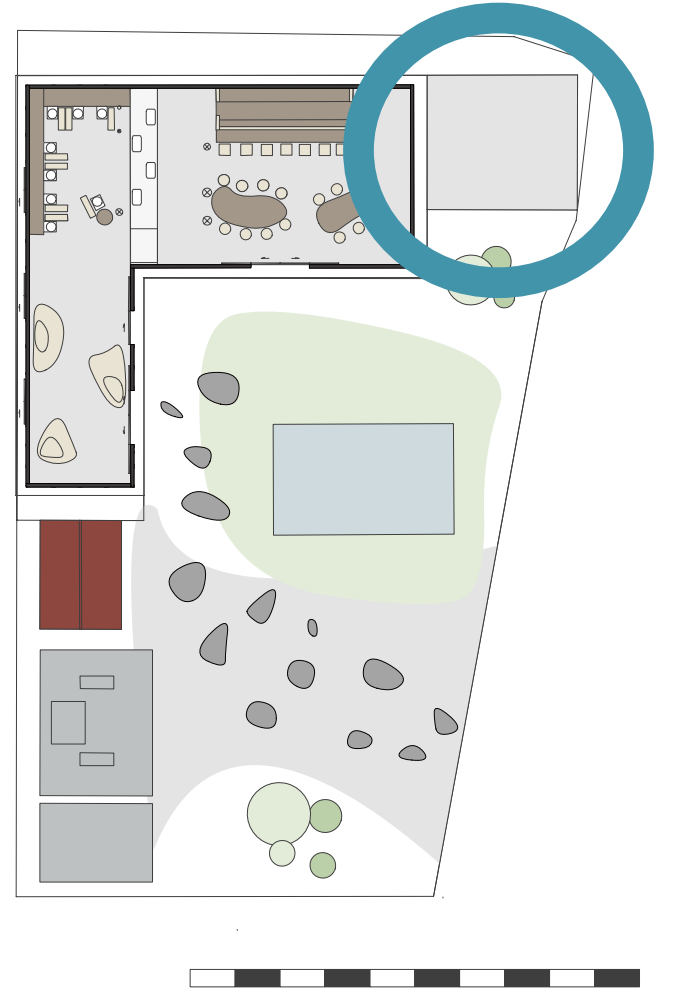
鳥瞰図



酒蔵

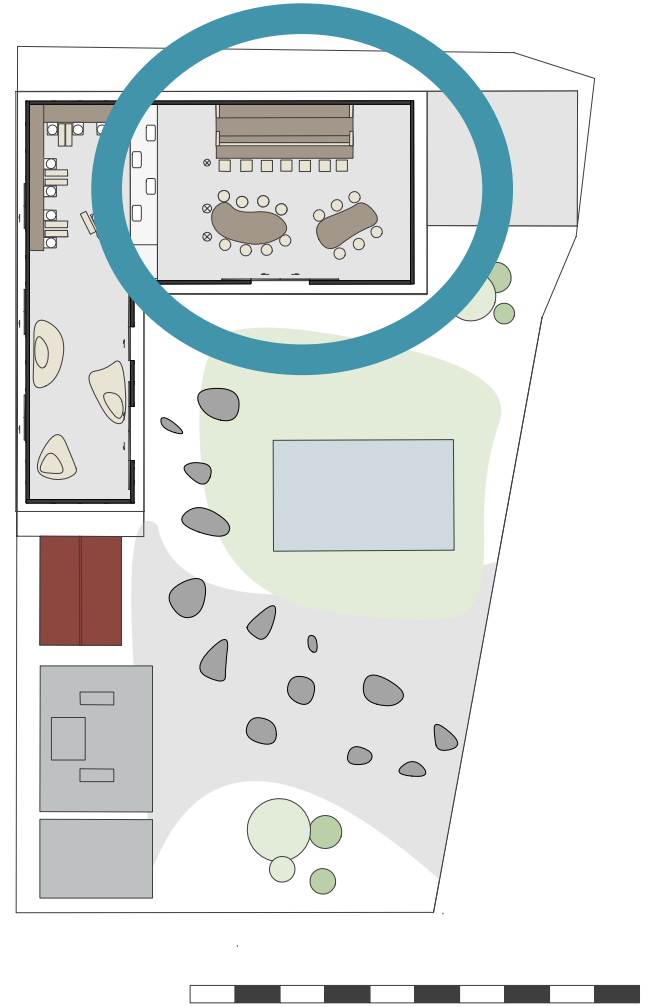
■調理室

現在の麹室を外観をそのまま使い、調理室とする。
常陸太田の特産を使用した料理を提供する。



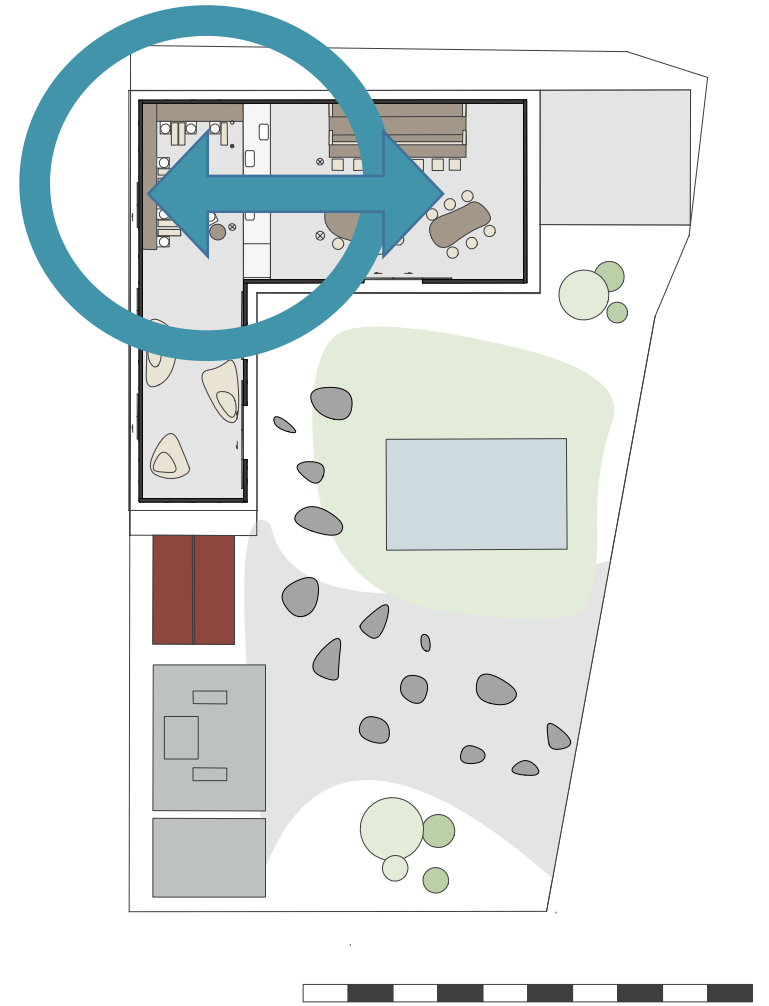
■ 陶芸ダイニング

地元民と旅行者が会話や食事を楽しむことができる場所。
また、おちょこや醤油皿を卓上ろくろで作ることができる。



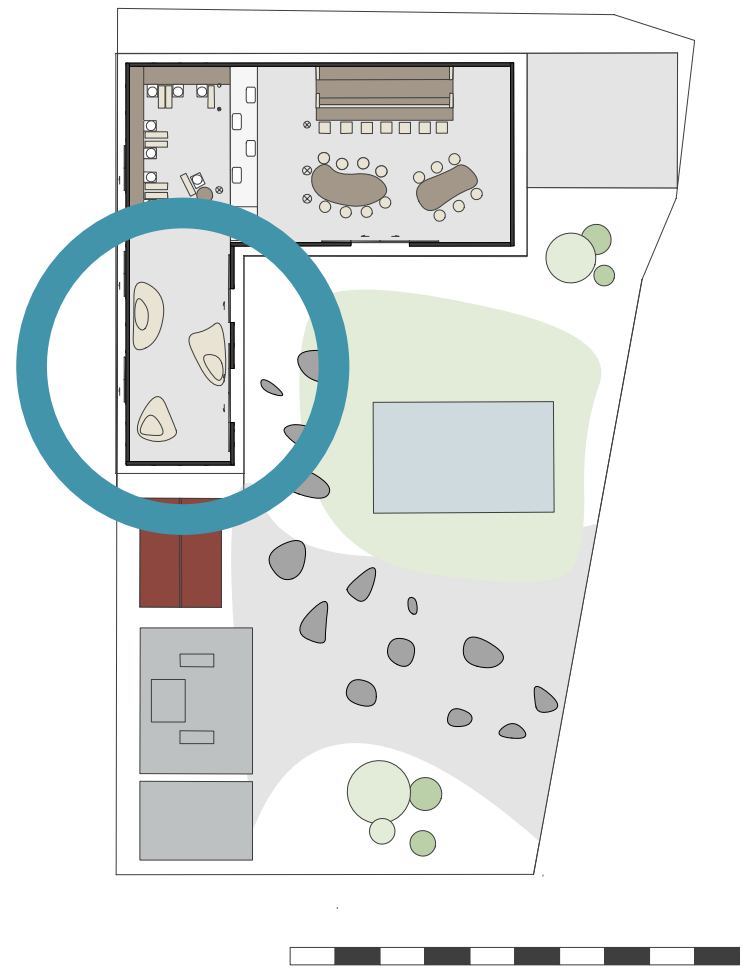
■ 陶芸教室

作家と一緒に陶芸体験ができるワークショップを不定期に開催する。
手洗い場は陶芸の自由な曲線を意識した。

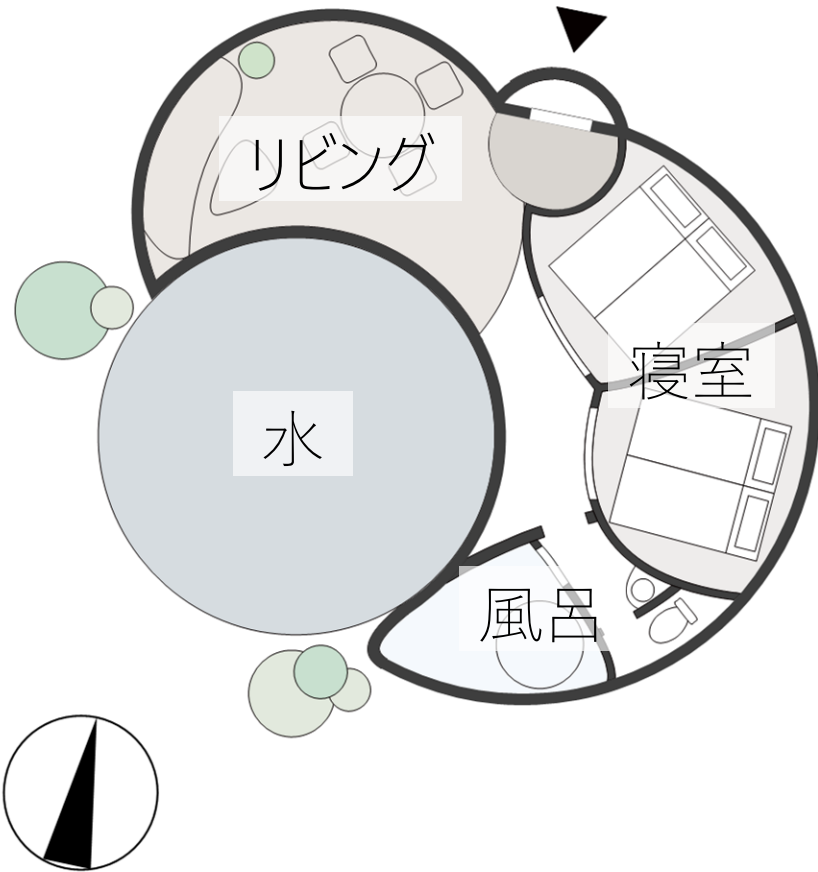


■ ギャラリー

さまざまな工芸家の作品を鑑賞したり購入したりできる。
常陸太田で活躍する作家や、注目を浴びたい新人作家などが気軽に販売ができる場所



陶芸コテージ



水を囲むような配置、粘土をこねたような自由な曲線で陶芸を表現した。

洞窟のような雰囲気ですぐに静かに過ごすことができる。

RC造の構造に左官でざらざらしたテクスチャを付ける



交流スペース

半地下の建物で、外からの視線を感じず
過ごしやすい

アンブレラプロジェクトを意識した透ける傘

光で空間を分けることで繋がりを意識





常陸太田市と
記憶と
アートと



憩いの場所



つなぐ